

指導教員名	長坂泰之
-------	------

活動区分	地域活性化型	連携先	カフェ空間運営者
	商業活性化型		商店街
	飲食店経営		

～ カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成 ～

活動の様子



3月4日：カラフル丼チーム
出店前のゼミ生の様子。笑顔と緊張と。いよいよ開店です。



3月5日：バターチキンカレーチーム
店内の風景。お客さまもたくさん来てくれました。



3月18日：サンドイッチチーム
料理をしているメンバーたち。衛生面もしっかりと。

企画・活動概要

本プロジェクトは、学生(長坂ゼミ2年生)が兵庫区平野地区に整備された空き店舗を改修したカフェ空間への出店体験を通じて、社会人基礎力を養成することを目的としています。具体的には、14名のゼミ生が3チームに分かれて、2023年3月に3日に分かれて1日限りで飲食店を運営しました。事業計画(販売計画、仕入計画、販売促進計画、売上計画、利益計画)を作成し、計画を達成できるかを競います。3チームのメインメニューは、カラフル丼(三食丼)、バターチキンカレー、サンドイッチでした。2022年8月の3年生の出店体験も踏まえて当日の人員費を獲得することを目標に取り組みました。



お店やメニューの紹介もしっかりと行った、準備万端でスタート。

経緯・背景・目的

神戸市兵庫区平野地区は過去は市電の終点として栄えた地域ですが、現在は高齢化の進展などにより空き店舗が目立っています。本プロジェクトは、学生が同地区に新たに整備された空き店舗を賃借したカフェ空間への出店体験を通じて、社会人基礎力を養成するとともに、平野地区にない新たな価値を見出すことで、地域貢献を果たそうとする取り組みです。また、賑わっているとは言えない「課題先進地」で社会共創活動をすることで、社会と共創を実現することの難しさを理解することも目標としました。



平野商店街は、決して人通りが多い地域ではありません。課題先進地ならではの多くの課題に気づきました。

取り組む課題

地域の課題は、①神戸市兵庫区平野地区は、過去は市電の終点として繁栄した地域ですが、現在は高齢化により空き店舗が目立つなど、商店街の衰退が厳しく、新しいお店がなかなか出店しない状況です。また、②地域の高齢化が進み、若者が地域の存在に気づいてくれないことも課題でした。学生の課題は、①コロナ禍で、社会との活動が制約されていたので、挑戦する機会がありませんでした。加えて、②挑戦する機会がないので、ゼミ生の目標である社会人基礎力を養成する機会がありませんでした。



ゼロからの飲食店経営はすべてが学び。まずは自分達の作ったサンドイッチの試食。

本学(学生)の役割

①地域の課題を知ることで、どのようにすれば地域の課題解決に貢献できるかを考え抜くことを目標としました。そのうえで、②学生が同地区に新たに整備された空き店舗を賃借し、カフェ空間への出店を通じて、平野地区にない新たな価値を見出すことを目的としました。



地域で売られていないメニューでチャレンジ。興味を持っていただきました。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

経営面では、利益目標を設定して出店しました。3チームのうち「人員費を確保する」という目標を達成できたのは1チームでした。活動を通じて目標利益を獲得する困難さを学びました。

そのうち、販売促進活動については、通行量が少ない商店街での活動では、積極的に声を掛けないと全く売れません。そのことに気づき、積極的に販売を展開することによって、少しでも目標に近づけるように努力しました。

コミュニケーション面では、地域の高齢者などの会話等により、地域の課題や地域の方々のニーズを把握することの重要性に気づきました。



経営面でも様々なチャレンジ。売上、利益計画の修正をしている様子。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
マーケティング学科
准教授
長坂泰之(ナガサカ ヤスユキ)
<専門・担当科目等>
流通政策、中小企業経営、震災復興

チャレンジの長坂泰之ゼミナールです。「商業まちづくりに興味がある学生大歓迎！大きく変化する時代のど真ん中にみんなは生きてます。そして、みんなにはこれからたくさんビッグウェーブが訪れます。ゼミ活動で様々なチャレンジをして自分を磨いて、ビッグウェーブの波に乗れる人材になって欲しいと思っています。

<関係者・企業等>



株式会社スクープ
代表取締役
光山和弥(ミツヤマ カズヤ)

神戸・平野商店街を活性化させるKIKKAKE PLACEを運営されています。今回、学生のために、KIKKAKE PLACEを貸していただきました。また、出店に向けて様々なアドバイスをいただきました。